# 平成25事業年度

自 平成 2 5年 4月 1日 至 平成 2 6年 3月 3 1日

第 9 期

# 事業計画

中日本高速道路株式会社

## . 高速道路株式会社法第10条に基づく事業計画について

事業計画については、高速道路株式会社法(以下、「会社法」という。)第10条に基づき、高速道路株式会社(以下、「会社」という。)が、毎事業年度の開始前に、その事業年度の事業計画を定め、国土交通大臣の認可を受けることとなっている。

なお、事業計画を申請するにあたり、会社法施行規則第11条第1項で規定されているとおり、資金計画書及び収支予算書を添えて、国土交通大臣に提出することとなっているため、事業計画以外にも当該事業年度の資金計画書及び収支予算書も添付する。

平成25事業年度の事業計画については、事業全体としては総額約8,070億円の事業費、うち高速道路事業に係る総額は約7,849億円の事業費を予定している。 資金計画については、合計約6,600億円の資金を借入金などで調達する予定である。収支予算については、当期純利益として約4億円発生する見込みである。

#### . 事業計画

#### 1. 高速道路事業に係る事業計画

平成25事業年度における高速道路事業については、高速道路の新設、改築及び維持、修繕、災害復旧その他の管理で構成される。

高速道路の新設、改築については、事業が進捗している道路や大都市圏ネットワークを形成する道路の整備を重点的に、信頼性の高い高速道路ネットワークを構築し、安全・安心・快適な高速道路を提供するため、約5,542億円の事業費(一般管理費、建設中利息を除くと約5,292億円)を予定している。

また、本事業年度内には、一般国道 468 号首都圏中央連絡自動車道(茅ヶ崎JCT~寒川北)5 km、(相模原愛川~高尾山 相模原IC除く)15 km、計20 kmの完成を予定している。

高速道路の維持、修繕、災害復旧その他の管理に関しては、適正かつ効率的な維持 管理や、道路施設について中長期的に管理するために必要な修繕を実施するため、約 2,307億円の事業費を予定している。

なお、他の会社の事業範囲における高速道路の新設、改築及び維持、修繕、災害復旧等に関する事業は、本事業年度において事業実施予定はない。

以上の内容をまとめると、高速道路事業に係る平成25事業年度の事業計画は下記 のとおりである。

単位:億円

事業区分	事業の概要 (実施の方法・事業量)	所要資金の額
高速道路の新設、改築	第二東海自動車道など計7道路327kmの新設、中央	
	自動車道など計6道路41kmの改築	5,542
高速道路の維持、修繕、災害復旧その	中央自動車道など計16道路1,924㎞の維持、修繕	
他の管理	等	2,307
会社法第5条第2項に規定された以		
外の高速道路における新設、改築		
会社法第5条 第2項に規定された以		
外の 高速道路における維持、修繕、		
災害復旧等		
合計A(高速道路事業)		
		7,849

### 2. 高速道路事業以外の事業に係る事業計画

平成25事業年度における高速道路事業以外の事業については、高速道路の休憩所、 給油所等の建設・管理、国、地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持、 修繕等及びその他の事業で構成される。

高速道路の休憩所、給油所等の建設・管理に関しては、高速道路の供用に伴う新規のサービスエリア等の建設及び利用者への適正なサービスを実施するために必要な既存サービスエリア等の管理を行うために、事業費約111億円を予定している。

国、地方公共団体等の委託に基づく道路の新設、改築、維持、修繕等に関しては、 高速道路事業に関連する他の道路事業等の委託事業を着実に実施するため、約53億 円の受託事業費を予定している。

その他事業に関しては、トラックターミナル事業、道路占用施設活用事業、広告事業、物販事業、コンサルティング事業、旅行業、カードサービス事業のほか、新たに事業を展開するために、約57億円の事業費を予定している。

以上の内容をまとめると、高速道路事業以外の事業に係る平成25事業年度の事業 計画は下記のとおりである。

単位:億円

事業区分	事業の概要 (実施の方法・事業量)	所要資金の額
高速道路の休憩所、給油所	一般国道 468 号首都圏中央連絡自動車道厚木パーキングエリアな	
等の建設・管理	ど計17箇所の建設	
	中央自動車道談合坂サービスエリアなど計180箇所のサービス	1 1 1
	エリア・パーキングエリアの管理	
国、地方公共団体等の委託	「一般国道 475 号東海環状自動車道美濃関JCT中央高架橋及び	
に基づく道路の新設、改築、	東海北陸自動車道跨道橋の建設事業の施工に関する協定」に基づ	5 3
維持、修繕等	く受託工事ほか	3 3
会社法第5条第2項に規定		
された以外の高速道路の休		
憩所、給油所等の建設・管		
理		
その他の事業	トラックターミナル事業、道路占用施設活用事業、広告事業、コ	
	ンサルティング事業、旅行業、カードサービス事業ほか	5 7
合計 B (高速道路事業以外)		
		2 2 1

合計 ( A + B )( 全事業 )		8,070
---------------------	--	-------

# 資金計画書

平成25事業年度の資金計画書は下記のとおりである。

単位:億円

科目			
	合計	高速道路事業	高速道路事業以外
収入の部			
(営業的収入)			
高速道路事業営業収入	4,828	4,828	
関連事業営業収入	227		2 2 7
SA・PA事業収入	1 5 7		1 5 7
その他の事業収入	1 7		1 7
受託事業収入	5 3		5 3
営業外収入	-	-	-
(資本的収入)			
社債・借入金	6,600	6,545 (6,545)	5 5
機構からの無利子借入金	-	-	
社債	3,100	3,100 (3,100)	
民間借入金	3,500	3,445 (3,445)	5 5
前期繰越金	1,139	1,034 ( 413)	1 0 5
合 計	12,793	12,407 (6,958)	3 8 7
支出の部			
(営業的支出)			
高速道路管理費	1,111	1 , 1 1 1	
道路維持管理費	5 2 3	5 2 3	
道路業務管理費	3 6 2	3 6 2	
一般管理費等	227	2 2 7	
道路資産賃借料	3,502	3,502	
関連事業管理費	1 5 2		1 5 2
SA・PA事業管理費	7 9		7 9
その他の事業管理費	2 1		2 1
受託事業営業費	5 3		5 3
(資本的支出)			
高速道路新設・改築費	5,542	5,542 (5,537)	
新設・改築費	5,292	5,292 (5,287)	
一般管理費	1 2 7	127 ( 127)	
支払利息等	1 2 3	123 ( 123)	
高速道路修繕費	1,196	1,196 (1,050)	
修繕費	1,125	1,125 ( 997)	
一般管理費	5 6	56 ( 38)	
支払利息等	1 5	15 ( 15)	
関連事業建設費	6 9		6 9
SA・PA事業建設費	3 3		3 3
その他の事業建設費等	3 6		3 6
社債等償還金	7 1	2 6	4 5
次期繰越金	1,150	1,030 ( 371)	1 2 0
合 計	12,793	12,407 (6,958)	3 8 7

端数処理の関係により合計が一致しない場合がある。

高速道路事業欄の( )書きは、機構へ承継する道路資産の形成に係る資金計画である。 上記計数は、消費税を含む。

## 収支予算書

平成25事業年度の収支予算書は下記のとおりである。

単位:億円

十八人工事未干及仍以又了异首			一 年世· 1217
科目	金額		
	合計	高速道路事業	高速道路事業以外
. 高速道路事業営業損益			
1 . 営業収益	7,347	7,347	
(1)料金収入	4,806	4,806	
(2)その他収入	2,541	2,541	
・道路資産完成高	2,541	2,541	
2 . 営業費用	7,378	7,378	
(1)道路資産賃借料	3,336	3,336	
(2)道路資産完成原価	2,581	2,581	
(3)管理費用	1,252	1,252	
・維持修繕費	4 9 8	4 9 8	
・管理業務費	3 4 8	3 4 8	
• 一般管理費	203	203	
・租税公課	1 9	1 9	
• 減価償却費	184	184	
(4)引当金等	2 0 9	2 0 9	
高速道路事業営業利益	3 1	3 1	
. 関連事業営業損益			
1 . 営業収益	2 2 5		2 2 5
(1)SA・PA事業収入	1 5 0		1 5 0
(2)その他の事業収入	1 6		1 6
(3)受託事業収入	5 9		5 9
2 . 営業費用	177		177
(1)SA・PA事業費	9 8		9 8
(2)その他の事業費	2 1		2 1
(3)受託事業費	5 9		5 9
関連事業営業利益	4 8		4 8
全事業営業利益	1 7	3 1	4 8
. 営業外収益	-	-	-
. 営業外費用	1 0	9	1
経常利益	6	4 0	4 6
	-		
. 特別利益	-	-	-
. 特別損失	-	-	-
税引前当期純利益	6	4 0	4 6
法人税、住民税及び事業税	2	-	2
法人税等調整額	-	-	-
当期純利益	4	4 0	4 4

端数処理の関係により合計が一致しない場合がある。

上記計数は、中日本高速道路㈱単体の収支予算である。 引当金等は、マイレージ等による割引額である。 上記計数は、消費税を含まない。

高速道路事業における損失については、高速道路事業に係る利益剰余金を活用して、機構に帰属 する道路資産を形成し、債務の引渡しを行わない事業(40億円)を含む。